

令和4年度秋田県総合政策審議会 第3回産業・雇用部会 議事要旨

1 日 時：令和4年8月23日（火）午前10時～午前10時30分

2 場 所：秋田県庁第二庁舎3階 31会議室

3 出席者

◎産業振興部会委員

株式会社ドレッシング・エー 代表取締役 伊藤 明子

株式会社 See Visions 代表取締役 東海林 諭宣

株式会社フォラックス教育 代表取締役 高橋 美佳子

株式会社フルヤモールド 常務取締役 古谷 美幸

□県

産業労働部 次長 石川 定人

他 各課室長 等

4 東海林部会長あいさつ

まずは昨日の高校野球について、104回の大会の中でやっと東北に優勝旗が渡るということで元高校球児としては大変嬉しく思う。生きてるうちに優勝が果たされ、すごいなと感動した。

さて、コロナの状況について、徐々に薄れてきている部分もあるのではないかと感じているかもしれないが、集客装置として営業している我々の飲食店は、正直言って、いまだ全然改善されておらず、非常に厳しい状況が続いている。皆さんあの手この手で、この2年半くらい一生懸命考えて取り組んでいるが状況は改善されないというところで、感染に気をつけつつ、少しずつでも外に出ていく環境を整えることが、これからの時代は必要だと、ウィズコロナをしっかりと認識して取り組んでいくことが必要なのかなと感じている。秋田県民の方々にも、少しでも外に出ていただければと思っている。

産業・雇用部会ということで、飲食に限らず、色々な産業がコロナに負けないような議論ができて、秋田県のこれからの発展に寄与できればなと思っているので、よろしく願い申し上げます。

5 議事

● 東海林部会長

議事(1)今年度の提言に向けた検討について、意見交換を行う。提言毎に事務局から説明をお願いする。

□ 仲村課長

- ・資料－２「提言書（案）」、資料－３「他の専門部会への提案（企画部会案件）」により、提言１について説明

- 東海林部会長
事務局の説明に対して、質問や意見等はないか。

- ◎ 古谷委員
産業人材の確保・育成について、ここでいうキャリア教育の充実とは具体的に何を指しているのか。

- 石川次長
県の教育委員会では、小中学校の総合的な学習の時間の中で、児童・生徒に様々な職業観や職場があることを紹介し、そうした職に就くためには何が必要かを学校の教員あるいは企業の経営者といった外部の講師を介して子どもたちに伝えている。

- 東海林部会長
この間の企画部会では、学校側でも企業の方々をよく知らないというところがあるので、産業を営んでいる方々と連携しながら、適材適所で、起業されている方々や事業を行っている方々を紹介して欲しいと教育委員会から話があったので、そうした連携の部分がここに盛り込まれている。

- 東海林部会長
他に質問等ないか。原案のままでよろしいか。

（異議なし）

続いて提言２について説明をお願いします。

- 仲村課長
・資料－２「提言書（案）」により、提言２について説明

- 東海林部会長
事務局の説明に対して、質問や意見等はないか。

（質問や意見等なし）

続いて提言３について説明をお願いします。

□ 仲村課長

- ・資料－２「提言書（案）」により、提言３について説明

● 東海林部会長

事務局の説明に対して、質問や意見等はないか。

（質問や意見等なし）

続いて提言４について説明をお願いします。

□ 仲村課長

- ・資料－２「提言書（案）」により、提言４について説明

● 東海林部会長

事務局の説明に対して、質問や意見等はないか。

（質問や意見等なし）

提言書の最後の取りまとめについては、私に一任いただくことでよろしいか。

（異議なし）

続いて議事（２）その他に入る。今回で、今年度の部会は最後になるので、最後に皆様から、一言ずつ本部会に参加して感じたことなど簡単にお話いただきたい。

◎ 伊藤委員

初めてこのような会議に参加させていただいたが、今までは自分の仕事に関わる分野のみをフォーカスしていた。今回、デジタルや人材といった全てのことについて、深く考える機会をいただいたことに感謝している。これからも視野を広くして、常にアンテナを高くして、私でも何か役に立てることがもっとあればいいなと考えている。

◎ 高橋委員

私は昨年からは、こちらに関わらせていただいて２年目になるが、普段でも事業活動の中で、短期・中長期的に目指すところや計画、施策等々を考えてはいるものの、今回このように、県としての産業の目指す姿を考えることに携わらせていただき、伊藤委員がおっしゃったように普段関わることのない他の産業の方々の意見や視点を聞くことができ、

非常に視野が広がったというか、自社と他の産業の点と点がつながって可能性が広がっていくような見方もできるようになったと思う。

私たちの意見をくみ上げていただいて、このような提言書にまとめていただいた産業労働部の皆様と事務局の皆様には本当に感謝申し上げたい。

◎ 古谷委員

やっこの雰囲気慣れてきて、この場にも慣れてきたというところで、あっという間に3回目の審議会となってしまった。

振り返ってみて、第2回の審議会を迎えるに当たって意見交換を事前に時間をかけてやってもらったことがすごく良かったと思う。その時間があったからこそ、自分の考えをまとめたり、調べてみたりする時間を取れたのですごく効果的だったと思う。

部会の提言書から、秋田県が一步でも二歩でも、豊かで幸せな県になっていくように進んでいけたらいいと思う。今後ともよろしくお願ひ申し上げる。

● 東海林部会長

私は2年前から参加させていただいているが、部会をこのような対面型で進めることにご尽力いただいた事務局の方々と皆様に感謝申し上げます。

先程古谷委員がおっしゃったように、事前に皆さんの意見を取りまとめることによって、それぞれの意見をしっかりと受けとめることができ、活発な意見交換につながったのだと思う。

このような形で提言がまとまったので、今後はスピード感を持って、しっかりと秋田県の産業を更に振興していただきたいと思うし、我々も一生懸命、事業にまい進していきたいと考えている。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

● 東海林部会長

その他、委員の皆様から何かないか。

(特になし)

6 閉会

● 東海林部会長

それでは本日の議事を全て終了する。

—— 議事終了 ——